

図書館員のひみつの本棚 第139回

先月に続いて「たまご」が題名に入っていますが、今回は科学の本です。

『たまごとひよこ』

ミリセント・E・セルサム／著 竹山 博／画 松田 道郎／訳
福音館書店 1972年 1188円

<お勧め年齢>

- ・乳幼児☆☆
- ・低学年☆☆☆
- ・中学年☆
- ・高学年—— 中学生——
- ・高校——
- ・一般——

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

受精卵の仕組みを鶏の卵で説明した本です。はじめの方に「どうぶつはたまごから成長します。」と書いてあるため、読んでいる子どもは、鶏の卵の仕組みを知りながら、その事を人間や他の動物にも当てはめて考えていくことができます。

単純でありながら、詳細に描かれたカラーのイラストと、簡潔で適切な文章は、幼い子どもにもわかりやすく生命の不思議を伝えてくれます。

<子どもに手渡す時のポイント>

文章が簡潔に選ばれた言葉で書いてあるので、あまり言葉を足さずにそのまま読んであげた方が子どもに伝わるように思います。子どもがこの分野に興味を持った時に読んであげることができれば、小さい子でも十分に理解できるようです。

先日、4歳の息子が自分の体に興味を示したことから、この絵本を一緒に読んだのですが、「胚」や「精子」など少し難しい単語もイラストや文脈から彼なりに理解し、なにより生命の不思議に驚いた様子でした。本を読み終わった後、息子がお腹にいた時のエコー写真を出してきて、本と比べながら見ると、同じように点から始まっているところなど分かり、本の内容を実感できたようです。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか